

令和6年度
事業報告書

社会福祉法人スキーム福祉の会

令和6年度事業報告書

I. 総括

令和3年後半から続く物価高騰は依然として収束の兆しがなく、あらゆる物品や光熱水費、食料費などの価格上昇が続き、施設財政に大きな影響を与えています。しかし、令和6年度の各事業所における年間稼働率が好調であったことに加え、物価高騰対策支援の補助金を活用するなどの取り組みにより、本年度も安定した経営を維持することができました。

また、一昨年前に導入した介護記録システムも順調に軌道に乗り、特養部門の介護職員に対して業務負担の軽減と業務効率化を大きく進展させることが出来ました。今後もさらなる改善・改革を図り、より効果的な運営を目指して継続的に取り組んでまいります。

感染症対策については、7月に特養従来型で新型コロナウイルスのクラスターを発生させてしまいました。職員・利用者を合わせて34人が感染しましたが、約3週間で終息させることができ、その後はクラスターの発生はありませんでした。今後も地域の動向を注意深く確認しながら、引き続き適切な感染症予防対策を講じ、安全な職場環境づくりに努めてまいります。

令和6年度の重点取組5項目について以下報告します。

1. サービスの質の向上

入所部門では介護記録システムの活用により、以前と比べてご利用者と関わる時間が多く確保出来るようになりましたが、それでも介護職員不足、ご利用者の重度化等あり、満足できる関わりをもつことは出来ませんでした。今後とも業務改善に努め、ご利用者との関わりがしっかり図れるようにし、継続してサービスの質の向上に努めてまいります。在宅部門では多職種連携のもと情報の共有をしっかりと図ることでニーズに沿えるサービス提供に努めた結果、大幅な稼働率向上につなげることができました。

2. 感染症対策の徹底

7月に従来型特養にて新型コロナウイルスのクラスターを発生させていまいましたが、その後、大きな集団感染の発生はなく、ご利用者には安心して過ごして頂くことができました。施設内の制限につきましても、まだ継続中ではありますが今後は緩和に向けて検討を行ってまいりたいと思います。

3. リスクマネジメント

今年度も骨折等の重大な介護事故や交通事故等、大きな事故を発生させることはありませんでしたが、軽微なヒヤリハット、特に職員によるヒューマンエラー等は毎月数件発生させてしまいました。今後も継続して再発防止策の内容を職員間で徹底し、事故の発生を未然に防いでまいります。

4. 防災対策

年2回実施する防災訓練にて毎回、職員から疑問に思う点や課題が上がってきましたが、防災委員会にてその対策や対応方法について話し合い、その内容を職員へ周知徹底させることで有事の際

に戸惑うことがないように努めてまいりました。

5. 地域貢献（地域交流・貢献委員会）

R6. 6/10 ふくしねっと総社総会参加

7/1 ふくしネット総社第1回事業部会出席

フードリンクプロジェクト、安心住まい応援事業、今年度の新規事業（見守り事業の検討・ボロ屋敷清掃片づけ事業の検討）について話し合われました。

9/14 第1回フードドライブ 職員から募った食品を提供

10/19 清音健康福祉まつり出店

ポップコーン、焼きそばの販売を行いました。

12/9 ふくしネット総社第2回事業部会出席

フードリンクプロジェクト、見守り事業の検討について話し合われました。現在見守り事業として送迎車等に張り付けるマグネットシートを作成中です。

R7.2/1 災害ボランティア設置演習参加

地域訪問班として山手地区の民家をランダムに訪問。災害ボランティアセンターや災害時の避難についてアンケートを実施しました。

3/8 第2回フードドライブ スタッフとして参加。

6. 働き方改革の推進

組織として「魅力ある職場づくり」を目標に掲げ、コンプライアンス（法令遵守）及びガバナンス（管理・運営）の強化を図るべく、必要な部署に対して指導・助言を実施してまいりましたが、まだまだ管理が必要であるため、今後も継続して協議・検討を行ってまいります。

II. 職員構成等

（令和7年3月31日現在）

| 事業所名 | 職種 | 員数 |
|------------|---------|--------------------|
| 特別養護老人ホーム | 施設長 | 1名（ケアハウス施設長兼務） |
| | 生活相談員 | 2名（内ショートステイ1名） |
| | 特養部長 | 1名 |
| | 機能訓練指導員 | 1名 |
| | 看護職員 | 7名（内パート4名） |
| | 介護職員 | 43名（内パート3名） |
| | 管理栄養士 | 1名 |
| | 介護支援専門員 | 1名 |
| | 用務員 | 2名 |
| デイサービスセンター | 在宅部長 | 1名（兼務 生活相談員） |
| | 管理者 | 1名（兼務 1名 生活相談員） |
| | 生活相談員 | 2名（兼務 2名 管理者・在宅部長） |

| | | |
|------------|--------------------------------------|---|
| | 看護職員 機能訓練指導員 介護職員 | 2名（兼務 2名 機能訓練指導員）（内パート1名） 2名（兼務 2名 看護職員） 7名（内パート2名） |
| 居宅介護支援事業所 | ケアマネジャー | 2名（兼務 1名 管理者） |
| ケアハウス | 管理者 生活相談員 介護職員 | 1名（特養施設長兼務） 1名 2名（内パート1名） |
| 地域包括支援センター | 主任介護支援専門員 看護師 社会福祉士 支援計画担当者 | 1名 1名 1名（兼務 管理者） 3名（内パート1名） |
| 全事業所兼務 | 事務員 | 2名（全事業所共通） |

在職職員の資格取得状況（取得者数は重複含む）

| 資格名 | 取得者数 | 所属別 |
|-----------|------|-------------|
| 施設長 | 2名 | 特養 2 |
| 看護師 | 6名 | 特養 4 在宅 2 |
| 准看護師 | 4名 | 特養 3 在宅 1 |
| 介護福祉士 | 61名 | 特養 46 在宅 15 |
| 社会福祉士 | 9名 | 特養 3 在宅 6 |
| 作業療法士 | 1名 | 特養 1 |
| 精神保健福祉士 | 2名 | 在宅 2 |
| 介護支援専門員 | 13名 | 特養 4 在宅 9 |
| 主任介護支援専門員 | 3名 | 在宅 3 |
| 社会福祉主事 | 24名 | 特養 14 在宅 10 |
| 管理栄養士 | 1名 | 特養 1 |

Ⅲ. 社会福祉法人スキーム福祉の会 理事会・評議員会 開催状況

(理事会)

| 開催日 | 出席者 | 主な議決事項 |
|--------|----------------|--|
| R6.6.5 | 理事 6名 監事 2名 | 令和5年度事業報告について 令和5年度収入支出決算について 職員給与規程の一部変更について 令和6年度第1次収入支出補正予算（案）について 評議員会の日時・場所・議案等について |

| | | |
|----------|----------------|---|
| R6.9.18 | 理事 6名 監事 2名 | 職員給与規程の一部変更について グリーンアンドリバーホームデイサービスセンター運営規程の一部変更について グリーンアンドリバー介護支援センター運営規程の一部変更について ケアハウスグリーンアンドリバーホーム運営規程の一部変更について 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援（総社市中央部南地域包括支援センター）運営規程の一部変更について 特別養護老人ホームグリーンアンドリバーホーム（従来型）運営規程の一部変更について 特別養護老人ホームグリーンアンドリバーホーム（ユニット型）運営規程の一部変更について 特別養護老人ホームグリーンアンドリバーホーム短期入所生活介護（従来型）運営規程の一部変更について 特別養護老人ホームグリーンアンドリバーホーム短期入所生活介護（ユニット型）運営規程の一部変更について 令和6年度第2次収入支出補正予算（案）について 評議員会の日時・場所・議案等について |
| R6.12.11 | 理事 6名 監事 2名 | 令和6年度第3次収入支出補正予算（案）について 理事長の互選について 評議員会の日時・場所・議案等について |
| R7.3.18 | 理事 6名 監事 2名 | 令和6年度第4次収入支出補正予算（案）について 令和7年度事業計画（案）について 令和7年度収入支出予算（案）について 育児・介護休業等に関する規則の一部変更について 理事の選任候補者について 監事の選任候補者について 評議員選任候補者の推薦について 評議員選任・解任委員の委員選任について 評議員会の日時・場所・議案等について |

(評議員会)

| 開催日 | 出席者 | 主な議決事項 |
|---------|-----------------|---|
| R6.6.21 | 評議員 6名 監事 2名 | 令和5年度事業報告について 令和5年度収入支出決算について 令和6年度第1次収入支出補正予算（案）について |
| R6.9.27 | 評議員 5名 | 令和6年度第2次収入支出補正予算（案）について |

| | | |
|----------|--------|---|
| R6.12.19 | 評議員 7名 | 令和6年度第3次収入支出補正予算(案)について |
| R6.3.27 | 評議員 6名 | 令和6年度第4次収入支出補正予算(案)について 令和7年度事業計画(案)について 令和7年度収入支出予算(案)について |

IV. 事業所別報告

1. 管理・運営部門

1. 防災教育及び訓練

| 実施日 | 訓練内容 |
|----------|---|
| R6.6.7 | 夜間想定 消火、通報、救助、避難訓練 防災監視盤・火災報知機の実施訓練 |
| R6.10.25 | 昼間想定 消火、通報、救助、避難訓練 防災監視盤・火災報知機の実施訓練 |

2. 職員研修

①施設内研修

| 研修月 | 研修名 | 出席者 | 講師等 |
|-----|-----------------------------|-----|------|
| 4月 | プライバシー保護の取り組みに関する研修 | 80名 | 資料配布 |
| | 倫理及び法令遵守に関する研修 | 80名 | 資料配布 |
| 5月 | 感染症及び食中毒まん延の防止に関する研修・訓練① | 72名 | 資料配布 |
| | 介護予防及び要介護度進行予防・介護技術向上に資する研修 | 11名 | 資料配布 |
| 6月 | 非常災害時の対応に関する研修① (感染症編) | 80名 | 資料配布 |
| 7月 | 高齢者虐待防止に関する研修① | 80名 | 資料配布 |
| | 身体拘束排除に関する研修① | 80名 | 資料配布 |
| 8月 | 事故発生・予防・再発防止に関する研修① | 51名 | 資料配布 |
| | ターミナルケア(終末医療)に関する研修 | 50名 | 資料配布 |
| 9月 | ハラスメント防止に資する研修 | 76名 | 資料配布 |
| | 従業者に対する医療(褥瘡含む)に関する教育・研修 | 52名 | 資料配布 |

| | | | |
|-----|-----------------------------|-----|------|
| 10月 | 認知症ケアに関する研修 | 72名 | 資料配布 |
| 11月 | 感染症及び食中毒のまん延防止に関する研修・訓練② | 75名 | 資料配布 |
| 12月 | 緊急時の対応に関する研修 | 77名 | 資料配布 |
| | 交通安全に資する研修 | 79名 | 資料配布 |
| 1月 | 高齢者虐待防止に関する研修② | 53名 | 資料配布 |
| | 身体拘束排除に関する研修② | 55名 | 資料配布 |
| | 接遇に関する研修 | 28名 | 資料配布 |
| 2月 | 非常災害時の対応に関する研修・訓練② (地震編) | 71名 | 資料配布 |
| 3月 | 精神的ケアに関する研修 | 53名 | 資料配布 |
| | 事故の発生・予防・再発防止に関する研修② | 53名 | 資料配布 |
| | 入浴介助に資する研修 | 11名 | 資料配布 |

②施設外研修

全国・岡山県老人福祉施設協議会・岡山県社会福祉協議会や各種団体が開催する各種研修会へ年間34回、延べ参加人数44名が参加致しました。

1. 特別養護老人ホーム（従来型）

今年度も稼働率の向上を目指し、入院者数の減少を目標に多職種連携のもとご入居者の健康管理に努めてまいりましたが、最終的には年間稼働率97.2%と残念ながら目標としていた97.5%には1歩及びませんでした。

ショートステイに関しましては、新たに導入しましたペースノート(予約管理システム)を活用して営業を行ったところ、想像以上の効果があり、多くの新規利用者を獲得することが出来ました。年間稼働率も85.7%となり、今年度の年間目標である85.0%を達成させることができました。来年度も出来る限り入退所にかかる期間の短縮等に努め、更なる稼働率向上に向けて尽力してまいります。

介護記録システムの活用につきましては、順調に軌道に乗っており、業務の効率化に大きな成果をあげています。その結果、ご入居者への直接的な支援の充実も図ることができており、生産性の向上にもつながっております。今後も継続して改善・改革を図り、より

効果的な運営を目指して取り組んでまいります。

ご入居者の安全を守り、職員の腰痛予防にもつながるノーリフティングケアへの取り組みも行っております。今後も継続して情報収集に努めケアの質を高めてまいります。

1. サービスの質の向上

〈ケアマネ・相談員〉

- ・入所申込の段階で申請者（主にご家族）のニーズを傾聴し不安の解消に努めました。また、申込後も、2か月に1回程度その後の入所状況や申込者の状態について確認の連絡を取るなかで、入所前から関係性を構築しました。
- ・入所申込の受付後、速やかに申込者の情報を入手しました。また、健康状態が低下した入居者が生じた段階で、事前面接と入所の検討を実施し次期入所の内定をできるだけ早めました。これにより、退所と新規入所の期間を短縮することができました。また、協力医療機関に入院中の入居者については、入院後2週間程度で状況確認を行い、概ね入院1か月後には退院可能か見極めを行うよう努めましたが、入院期間を短縮することはできませんでした。
- ・令和6年度制度改正に伴い口腔衛生管理体制の構築が義務づけられたため、訪問診療専門の岡山大塚歯科医院と業務提携し、週2回程度、口腔ケア及び歯科診療を受ける体制を構築しました。これにより、入居者の口腔衛生の向上に繋がるとともに、職員への指導も受けることができ、口腔衛生技術などの向上も期待でき、総じて健康の維持増進を図ることができました。
- ・ご入居者に一番近い存在の担当介護職員のアセスメント力を引き上げることに力を注ぎ、ご入居者、ご利用者お一人おひとりのより細やかな情報収集を行うことで、個々に合わせた介護支援計画の立案に努めました。
- ・介護支援計画だけでなく、ご入居者やご家族の意向も関係職種と情報共有を行うことで、より良いチームケアの実践に努めました。
- ・介護記録システムに合わせて介護請求システムを導入することで入退所管理、記録、請求処理の一元化を進めることができました。記録システムの運用については、カスタマイズが進んでおり、職員が使用方法に慣れたことで記録業務時間の大幅な削減が図れましたが、介護職員不足から、ご入居者と関わる時間への有効活用という目標は十分達成できとは言えません。今後は介護主任と連携して職員の意識向上を目指すとともに、介護職員の確保、定着のために、新たな介護テクノロジーの導入、広報活動を進めて参ります。

〈看護〉

- ・経管栄養の方の口腔ケア方法について協力歯科医院の指導の下、ケアを実施したところ、確実に舌苔を除去することができるようになり、誤嚥性肺炎の軽減に繋げることができました。
- ・接遇マナーの向上に努める為5項目の「自己チェックシート」で3ヶ月毎に行動の見直しを行いました。「身だしなみ」「あいさつ」「表情」については改善することができましたが「態度」「言葉遣い」の2項目については満足のいく改善につなげることはできませんでした。この2項目については、今後も引き続き改善が図れるようしっかりと取り組んで参ります。
- ・協力病院との連携がしっかりと図れるように情報を細目に電話連絡したことで体調不良者への

対応を迅速に行うことができました。しかし、ファックスでの報告では内容がうまく伝わらないことが多くあったことから今後は連携方法の見直しを行い、更に確実な報告が出来るよう検討してまいります。

〈介護〉

- ・介護記録システムの活用により多職種との連携及び情報交換等を円滑に図ることが出来ました。また、入居者との関わりについてもユニット内で課題、実践、結果、振り返りを繰り返しながら質の向上を図ることで職員の意識の変化が少しずつ見られました。
- ・職員一人ひとりの特性に合わせた目的・目標を設定し、問題点・改善点の内容も随時見直しを行うことで新たな目標を立案し取り組みを行いました。その結果、職員のスキルアップも順調に進みましたが反面、変化がみられないところもあり、スキルにばらつきのない人材を作るには時間を要すると感じました。
- ・事故予防委員を通じてヒヤリハット報告書を基に改善策について半年ごとの見直しを行い、再確認をしました。月々の振り返りを事故予防委員だけでなく当番制にしたことで職員一人ひとりの着目点が異なり、多角的な意見が出て職員の危機意識向上に繋がりました。

〈栄養（給食）〉

- ・食事摂取基準を基に介護状態及び食事形態を考慮した献立を作成し多職種連携のもとニーズに沿った個別対応を行うことが出来ました。
- ・感染対策を継続しながら、実施場所や回数など工夫しながらイベント食を実施できました。
- ・大量給食調理マニュアルに沿った衛生指導を徹底し、食中毒を防止することができました。
- ・厨房内の業務用エアコン2台の追加設置により室内の温度管理は確実に実施できました。
- ・新型コロナウイルス感染症を含む給食マニュアル・災害時給食マニュアルの作成はできましたが、職員への周知は徹底できませんでした。

〈機能訓練〉

- ・ご入居者お一人お一人に合わせた機能訓練計画書の立案を行う事ができました。身体機能、認知機能の変化に合わせたプログラムを提供できるように、三ヵ月毎の計画書更新を徹底して行いました。
- ・実際の生活場面での様子を見て、その場所その時間に現場職員から情報を取り入れる事を意識して情報共有をすすめました。常に新しい情報を手に入れて計画書に反映する事ができました。問題点や疑問点の内容によってはその場で早期解決に導く事もでき、ご入居者の負担軽減にもつなげる事ができました。
- ・外気浴に出てみると野菜や花が育っている事を知り、園芸活動にも短時間の参加をする姿が見られました。一つの活動参加が他の活動につながっていき、活動の幅を広げていく事ができました。
- ・ご入居者が身体的にも精神的にも負担が少なくなる手技を学び実践しました。手技実践を始めてからまだ日が浅く、効果の実用性について不明な点もあるので次年度も実践継続してまいります。

2. 感染症対策の徹底

- ・感染症予防への取り組みを継続し、発生を想定したシミュレーションの実施、研修を行い感染症対策の強化を図りましたが、新型コロナウイルスの集団感染を発生させてしまいました。その都度マニュアルの見直しを行い、来年度も引き続き適切な感染症対策の実施に努めてまいります。

3. リスクマネジメント

- ・事故予防委員会を中心に報告された改善策について評価・再検討をすることで、事故の未然防止に努めました。その結果、骨折事故を0件にすることができました。
- ・介護・看護で使用する機械や備品については、定期的な点検や在庫管理を徹底しました。

4. 防災対策

施設全体で行われる訓練に参加し、疑問点等の確認や新たな気づきを持つことができました。来年度も研修や訓練を通じて、防災に対する意識を向上させてまいりたいと思います。

行事

| 開催月 | 行事名 | 実施内容 |
|---------|--------------------------|---------------------------------|
| 4月 | お花見 | 施設内での食事、公園の桜鑑賞 |
| 5月～7月 | おやつ作り、すいか割り | ユニットごとのおやつ作り |
| 8月～9月 | ユニット合同夏祭り | 廊下やフロアを活用した夏祭り |
| 10月～11月 | 運動会、焼き芋 | ホールを活用した運動会 |
| 12月 | クリスマス会 イルミネーション鑑賞ドライブ | ケーキ作り、プレゼント贈呈 総社市役所から駅前のドライブ |
| 1月～3月 | もちつき、節分、ひな祭り | 豆まき、ひな人形鑑賞 |

※参考資料

(1) 入居利用者の実態

①介護度及び保険者（令和7年3月31日現在）

| 要介護度 | | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 計 |
|------|----|------|------|------|------|------|----|
| 総社市 | 男 | 0 | 0 | 3 | 5 | 3 | 11 |
| | 女 | 0 | 0 | 2 | 16 | 11 | 29 |
| | 小計 | 0 | 0 | 5 | 21 | 14 | 40 |
| 倉敷市 | 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 4 |
| | 小計 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 5 |
| 高梁市 | 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| | 小計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |

| | | | | | | | |
|-------|----|---|---|---|----|----|----|
| 井原市 | 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 小計 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 真庭市 | 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 小計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 吉備中央町 | 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 計 | 男 | 0 | 0 | 3 | 5 | 5 | 13 |
| | 女 | 0 | 0 | 2 | 21 | 14 | 37 |
| 合計 | | 0 | 0 | 5 | 26 | 19 | 50 |

① 年齢構成（最高年齢：100歳、最少年齢：66歳、平均年齢：88.7歳）

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|----|
| | ～64 | 65～ | 70～ | 75～ | 80～ | 85～ | 90～ | 95～ | 100～ | 計 |
| | | 69 | 74 | 79 | 84 | 89 | 94 | 99 | ～ | |
| 男性 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | 4 | 4 | 1 | 0 | 14 |
| 女性 | 1 | 1 | 0 | 0 | 5 | 7 | 13 | 8 | 1 | 36 |
| 合計 | 1 | 1 | 1 | 2 | 7 | 11 | 17 | 9 | 1 | 50 |

② 年間の入退所状況

| | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 退所 | 1 | 4 | 1 | 0 | 6 | 2 | 1 | 2 | 0 | 4 | 1 | 0 |
| 入所 | 2 | 2 | 3 | 0 | 5 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 |

③ 退所理由

| | | | | |
|------|-------|------|-----|-----------------|
| 長期入院 | 他施設入所 | 在宅復帰 | 死去 | (死去の内、施設内での看取り) |
| 5名 | 0名 | 0名 | 18名 | |

(2) 稼働状況（平均稼働率：97.2%）

従来型

| | | | | | | | | | | | | | |
|--------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|------------------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
| 延べ利用者数 | 1478 (1438) | 1508 (1443) | 1477 (1421) | 1550 (1512) | 1514 (1517) | 1482 (1461) | 1542 (1547) | 1455 (1454) | 1463 (1529) | 1410 (1530) | 1353 (1417) | 1516 (1574) | 17748 (17783) |
| ベッド稼働率 | 98.5 (95.9) | 97.3 (93.1) | 98.5 (94.7) | 100 (97.5) | 97.7 (97.9) | 98.8 (97.4) | 99.5 (99.8) | 97.0 (96.9) | 94.4 (98.6) | 91.0 (98.7) | 96.6 (97.7) | 97.8 (97.7) | 97.2 (97.2) |

下段は令和5年度

(3) ショートステイ稼働状況 (平均稼働率：85.7%)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
|--------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 延べ利用者数 | 504 (515) | 557 (532) | 525 (525) | 535 (550) | 487 (537) | 492 (484) | 552 (494) | 513 (516) | 524 (507) | 526 (464) | 497 (522) | 543 (534) | 6255 (6177) |
| ベッド稼働率 | 84.0 (85.2) | 89.7 (85.8) | 87.5 (87.5) | 86.3 (88.7) | 78.5 (86.6) | 82.0 (80.7) | 89.0 (79.7) | 85.5 (86.0) | 84.5 (81.8) | 84.8 (74.8) | 88.8 (93.2) | 87.6 (86.1) | 85.7 (84.6) |

() 内は令和5年度

(4) 待機者の状況 (※従来型とユニット型両施設希望者も含む。)

| 保険者 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計 |
|-------|------|------|------|------|------|-----|
| 総社市 | 1 | 2 | 51 | 26 | 26 | 106 |
| 倉敷市 | 0 | 0 | 2 | 2 | 1 | 5 |
| 岡山市 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 吉備中央町 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 矢掛町 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 合計 | 1 | 2 | 54 | 30 | 27 | 114 |

| 月 | 行事食 | 月 | 行事食 |
|----|---------------------------------|-----|--------------------------|
| 4月 | お花見弁当 → お弁当提供 | 10月 | 大判焼き → 秋祭りで実施 |
| 5月 | デザートバイキング→未実施 | 11月 | 秋祭りイベント → 実施 |
| 6月 | おやつ作り → 各ユニットでおやつ作り | 12月 | クリスマス弁当 → お弁当提供 |
| 7月 | 夏祭りイベント → ミニ夏祭り実施 たこ焼き かき氷実施 | 1月 | お正月行事食 → 実施 |
| 8月 | アイスクリーム → 実施 | 2月 | 節分巻き寿司 → 実施 握り寿司 → 実施 |
| 9月 | 敬老会行事 → 実施 | 3月 | ひな祭り行事 → 実施 甘酒の提供 |

苦情状況

なし

| 発生年月日 | 内容 | 対応 |
|--------|---|---|
| R6.6.7 | 協力病院より、施設から「急変」ということで救急搬送の依頼を受けたが、病院へ連絡する前に『できること』があったのではないか。その | 急変時は看護師皆が同じ対応ができるよう、看護師間で話し合いをする。言動についてはその場の状況を考えて発言に気を付ける。 |

| | | |
|----------|--|--------------------------------------|
| | 時の施設看護師の対応・発言についても医師・外来看護師の気分を害する発言であった。 | |
| R6.8.5 | ショートステイ送迎の際にベッド柵をしてもらえていなかった。 | 次回の送迎を他職員と共に行い、送迎時に行うことを今一度、確認してもらう。 |
| R6.12.12 | ショートステイ利用の娘さんよりマグミットを定期以外で服用しているが、家族に連絡なく追加するのではなく事前の連絡がほしい。 | 看護師だけの判断でなく、家人へ連絡し主治医の指示を仰ぐ。 |

2. 特別養護老人ホーム（ユニット型）

今年度は稼働目標 97.0%に対し、98.9%の稼働率で1年を終えました。協力医療機関との情報共有、関係機関との連携に努めた結果、目標稼働率を達成させることができました。来年度も出来る限り入退所に係る期間の短縮等に努め、更なる稼働率向上に向けて努力してまいります。

介護記録システムの活用につきましては、順調に軌道に乗っており、業務の効率化に大きな成果をあげています。その結果、ご入居者への直接的な支援の充実も図ることができており、生産性の向上にもつながっております。今後も継続して改善・改革を図り、より効果的な運営を目指して取り組んでまいります。

ご入居者の安全を守り、職員の腰痛予防にもつながるノーリフティングケアへも取り組んでいます。今後も継続して情報収集に努めケアの質を高めてまいります。

1. サービスの質の向上

〈ケアマネ・相談員〉

- ・入所申込の段階で申請者（主にご家族）のニーズを傾聴し不安の解消に努めました。また、申込後も、2か月に1回程度その後の入所状況や申込者の状態について確認の連絡を取るなかで、入所前から関係性を構築しました。
- ・入所申込の受付後、速やかに申込者の情報を入手しました。また、健康状態が低下した入居者が生じた段階で、事前面接と入所の検討を実施し次期入所の内定をできるだけ早めました。これにより、退所と新規入所の期間を短縮することができました。また、協力医療機関に入院中の入居者については、入院後2週間程度で状況確認を行い、概ね入院1か月後には退院可能か見極めを行うよう努めましたが、入院期間を短縮することはできませんでした。
- ・令和6年度制度改正に伴い口腔衛生管理体制の構築が義務づけられたため、訪問診療専門の岡山大塚歯科医院と業務提携し、週2回程度、口腔ケア及び歯科診療を受ける体制を構築しました。これにより、入居者の口腔衛生の向上に繋がるとともに、職員への指導も受けることができ、口腔衛生技術などの向上も期待でき、総じて健康の維持増進を図ることができました。
- ・ご入居者に一番近い存在の担当介護職員のアセスメント力を引き上げることに尽力し、ご入

居者、ご利用者お一人おひとりのより細やかな情報収集を行うことで、個々に合わせた介護支援計画の立案に努めました。

- ・介護支援計画だけでなく、ご入居者やご家族の意向も関係職種と情報共有を行うことで、より良いチームケアの実践に努めました。
- ・介護記録システムに合わせて介護請求システムを導入することで入退所管理、記録、請求処理の一元化を進めることができました。記録システムの運用については、カスタマイズが進んでおり、職員が使用方法に慣れたことで記録業務時間の大幅な削減が図れましたが、介護職員の不足から、ご入居者と関わる時間への有効活用という目標は十分達成できたとはいえません。今後は介護主任と連携して職員の意識向上を目指すとともに、介護職員の確保、定着のために、新たな介護テクノロジーの導入、広報活動を進めて参ります。

〈看護〉

- ・経管栄養の方の口腔ケア方法について協力歯科医院の指導の下、ケアを実施したところ、確実に舌苔を除去することができるようになり、誤嚥性肺炎の軽減に繋げることができました。
- ・接遇マナーの向上に努める為5項目の「自己チェックシート」で3ヶ月毎に行動の見直しを行いました。「身だしなみ」「あいさつ」「表情」については改善することができましたが「態度」「言葉遣い」の2項目については満足のいく改善につなげることはできませんでした。この2項目については、今後も引き続き改善が図れるようしっかりと取り組んで参ります。
- ・協力病院との連携がしっかりと図れるように情報を細目に電話連絡したことで体調不良者への対応を迅速に行うことができました。しかし、ファックスでの報告では内容がうまく伝わらないことが多くあったことから今後は連携方法の見直しを行い、更に確実な報告が出来るよう検討してまいります。

〈介護〉

- ・介護記録システムを活用することで大幅に記録業務の短縮を図ることができました。また、ご入居者の表情を意識しながら、状態や体調に合わせてご本人の気持ちに寄り添う関わりが行えるように努めてまいりましたが、ご入居者の重度化により私たちの満足できる関わり方を実施することはできませんでした。今後はご入居者やご家族の意向を含め、日々のケアの中でどうすればしっかり関りを持てる援助が行えるかを職員間で協議してまいりたいと思います。
- ・外部研修に参加した職員が勉強会を行うことで、担当者は得た知識を自分のものにして伝える努力が見え、更に事業所全体での知識共有も図ることができました。また、必要性の高い現状の課題に即した内容で勉強会を行うことで、根拠を持ったケアの実践ができるようになりました。
- ・事故予防委員会を中心に事故やヒヤリハット事案をもとに個々のリスクを勘案した振り返りを行うことで、同様のヒヤリハット・事故を未然に防ぐことができました。今後もリスクマネジメント力を上げたい職員を委員に選任し、集計、分析、目標設定、周知、実施が確実に行え、事故等の予防に繋げていきたいと思っております。

〈栄養（給食）〉

- ・食事摂取基準を基に介護状態及び食事形態を考慮した献立を作成し多職種連携のもとニーズに沿った個別対応を行うことが出来ました。
- ・感染対策を継続しながら、実施場所や回数など工夫しながらイベント食を実施できました。
- ・大量給食調理マニュアルに沿った衛生指導を徹底し、食中毒を防止することができました。
- ・厨房内の業務用エアコン2台の追加設置により室内の温度管理は確実に実施できました。
- ・新型コロナウイルス感染症を含む給食マニュアル・災害時給食マニュアルの作成はできましたが、職員への周知は徹底できませんでした。

〈機能訓練〉

- ・ご入居者お一人お一人に合わせた機能訓練計画書の立案を行う事ができました。身体機能、認知機能の変化に合わせたプログラムを提供できるように、三ヵ月毎の計画書更新を徹底して行いました。
- ・実際の生活場面での様子を見て、その場所その時間に現場職員から情報を取り入れる事を意識して情報共有をすすめました。常に新しい情報を手に入れて計画書に反映する事ができました。問題点や疑問点の内容によってはその場で早期解決に導く事もでき、ご入居者の負担軽減にもつなげる事ができました。
- ・外気浴に出てみると野菜や花が育っている事を知り、園芸活動にも短時間の参加をする姿が見られました。一つの活動参加が他の活動につながっていき、活動の幅を広げていく事ができました。
- ・ご入居者が身体的にも精神的にも負担が少なくなる手技を学び実践しました。手技実践を始めてからまだ日が浅く、効果の実用性について不明な点もあるので次年度も実践継続してまいります。

2. 感染症対策の徹底

感染症予防への取り組みを継続し、発生を想定したシミュレーションの実施、研修を行い感染症対策の強化を図りました。その結果、新型コロナウイルスを含めた感染症を発生させることなく安心して生活をしていただくことができました。来年度も引き続き適切な感染症対策の強化に努めてまいります。

3. リスクマネジメント

- ・事故予防委員会を中心に報告された改善策について評価・再検討をすることで、事故の未然防止に努めました。その結果、骨折事故を0件にすることができました。
- ・介護・看護で使用する機械や備品については、定期的な点検や在庫管理を徹底しました。

4. 防災対策

施設全体で行われる訓練に参加し、疑問点等の確認や新たな気づきを持つことができました。来年度も研修や訓練を通じて、防災に対する意識を向上させていきたいと思っております。

行事

| 開催月 | 行事名 | 実施内容 |
|---------|--------------------------|---------------------------------|
| 4月 | お花見 | 施設内での食事、公園の桜鑑賞 |
| 5月～7月 | おやつ作り、すいか割り | ユニットごとのおやつ作り |
| 8月～9月 | ユニット合同夏祭り | 廊下やフロアを活用した夏祭り |
| 10月～11月 | 運動会、焼き芋 | ホールを活用した運動会 |
| 12月 | クリスマス会 イルミネーション鑑賞ドライブ | ケーキ作り、プレゼント贈呈 総社市役所から駅前のドライブ |
| 1月～3月 | もちつき、節分、ひな祭り | 豆まき、ひな人形鑑賞 |

※参考資料

(1) 入居利用者の実態

①介護度及び保険者（令和7年3月31日現在）

| 要介護度 | | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 計 |
|------|----|------|------|------|------|------|----|
| 総社市 | 男 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 4 |
| | 女 | 0 | 0 | 7 | 7 | 8 | 22 |
| | 小計 | 0 | 0 | 9 | 9 | 8 | 26 |
| 倉敷市 | 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 小計 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 津山市 | 男 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 岡山市 | 男 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 女 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 計 | 男 | 0 | 0 | 2 | 3 | 1 | 6 |
| | 女 | 0 | 0 | 7 | 9 | 8 | 24 |
| 合計 | | 0 | 0 | 9 | 12 | 9 | 30 |

② 年齢構成（最高年齢：99歳、最少年齢：70歳、平均年齢：89.7歳）

| | ～64 | 65～ 69 | 70～ 74 | 75～ 79 | 80～ 84 | 85～ 89 | 90～ 94 | 95～ 99 | 100 ～ | 計 |
|----|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----|
| 男性 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 3 | 0 | 7 |
| 女性 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 7 | 5 | 7 | 0 | 23 |
| 合計 | 0 | 0 | 1 | 2 | 5 | 7 | 5 | 10 | 0 | 30 |

③ 年間の入退所状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 退所 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 入所 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 |

④ 退所理由

| 長期入院 | 他施設入所 | 在宅復帰 | 死去 | (死去の内、施設内での看取り) |
|------|-------|------|----|-----------------|
| 0名 | 1名 | 0名 | 5名 | 3(名) |

(2) 稼働状況 (平均稼働率 : 98.9%)

ユニット型

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
|--------|----------------|----------------|--------------|----------------|----------------|---------------|---------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---------------|------------------|
| 延べ利用者数 | 871 (873) | 921 (919) | 900 (900) | 921 (926) | 906 (924) | 900 (856) | 930 (881) | 885 (831) | 906 (900) | 924 (896) | 834 (847) | 930 (920) | 10828 (10673) |
| ベッド稼働率 | 96.8 (97.0) | 99.0 (98.8) | 100 (100) | 99.0 (99.6) | 97.4 (99.4) | 100 (95.1) | 100 (94.7) | 98.3 (92.3) | 97.4 (96.8) | 99.4 (96.3) | 99.3 (97.4) | 100 (98.9) | 98.9 (97.2) |

下段は令和5年度

(3) 待機者の状況 (※従来型とユニット両施設希望者も含む。)

| 保険者 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計 |
|-----|------|------|------|------|------|----|
| 総社市 | 0 | 1 | 15 | 5 | 8 | 29 |
| 高梁市 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| 真庭市 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 矢掛町 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 合計 | 0 | 1 | 16 | 8 | 8 | 33 |

| 月 | 行事食 | 月 | 行事食 |
|----|---------------------------------|-----|--------------------------|
| 4月 | お花見弁当 → お弁当提供 | 10月 | 大判焼き → 秋祭りで実施 |
| 5月 | デザートバイキング → 未実施 | 11月 | 秋祭りイベント → 実施 |
| 6月 | おやつ作り → 各ユニットでおやつ作り | 12月 | クリスマス弁当 → お弁当提供 |
| 7月 | 夏祭りイベント → ミニ夏祭り実施 たこ焼き かき氷実施 | 1月 | お正月行事食 → 実施 |
| 8月 | アイスクリーム → 実施 | 2月 | 節分巻き寿司 → 実施 握り寿司 → 実施 |
| 9月 | 敬老会行事 → 実施 | 3月 | ひな祭り行事 → 実施 甘酒の提供 |

苦情状況

なし

3. G&Rデイサービスセンター

毎月コンスタントに新規利用の受け入れがあり、7月以降は目標値を達成した稼働率を維持したまま今年度を終える事ができました。当事業所の特色が確立できたかは定かではありませんが、要支援者を含む軽度者の新規依頼も多く受ける事が出来ました。来年度も今の状態を可能な限り維持出来るよう努めてまいります。

また、新型コロナウイルス感染者に2名がり患しましたが、感染予防を適切に実施したことにより、感染拡大する事はありませんでした。来年度も事業が継続出来るよう感染予防対策を徹底してまいります。

1. サービスの質の向上

〈相談〉

ご利用者の小さな体調不良でも報告し、ケアの方法から着替えや持ち物に関する事まで幅広く細目にご家族の意向確認を行うと共に、その内容を申し送りや会議等において職員全員で情報を共有した結果、ご家族・ご利用者のニーズに沿ったサービス提供に繋げる事が出来ました。また、その都度ケアマネジャーへの報告や情報の共有・連携を確実にを行う事で、各事業所の意見や考えを聞く機会を持つ事も出来ました。さらには、ご利用者・ご家族からのご要望やケアマネジャーからの依頼等に対し、可能な限り対応する姿勢を崩さなかった事で関係構築を図る事が出来たと思います。

〈看護〉

異常時の報告を迅速・詳細に行った事で、必要な処置内容の変更や多職種間での情報共有をスムーズに行う事が出来、在宅生活継続の問題発生に対して積極的にケアプランに沿ったケアが実施出来たと思います。機能訓練では、個々のご利用者に適した計画を作成・実施し、身体機能の把握と適切な運動の提供を行った結果、ご高齢なりにも「動ける体」を維持していただく事が出来ました。

〈介護〉

反省会やデイ会議等にて発信している事もあり、「待つ」事は比較的实施出来ました。しかし、ご利用者の動作を待たずに職員が介助してしまう場面もあり、ご利用者の残存機能の維持の妨げとならないよう継続して留意していく必要もあります。また、「見る」「聴く」事に関しても、ご利用者の身体的異常の早期発見や、若い頃の話や好きな物の話等を多く聞く事が出来ました。ご利用者をご自分で話される事から、本人の能動的な行動を引き出す事が出来た事案もありましたが、十分とは言えないと感じており、今後も継続して取り組む必要のある課題だと思っております。

2. 感染症対策の徹底

手洗いや手指消毒、物品の管理・消毒等徹底した実施を行い、感染症予防に努めました。併せ

て、職員へも感染症に罹らない・持ち込まない為の注意喚起を定期的に行いましたが、職員2名の感染者が発生してしまいました。しかし、感染が拡大する事なく終息させる事が出来ました。

3. リスクマネジメント

交通事故予防については、朝礼時に安全運転実施に対する注意喚起を行うと共に、各職員の運転技術を考慮した配車割を行い事故なく1年を終える事が出来ました。

介護事故発生防止については、ヒヤリハット報告書が提出された際、発生原因を徹底的に追及し、確実に実行できる改善策の策定と実施に努めました。また、デイ会議ではヒヤリハットの振り返りを行い、改善策実施の確認及び改善策の修正を図りながら再発防止に努めた結果、同様な事故の発生はありませんでした。しかし一方で、利用者の状態把握及び分析力の甘さを感じており、今後の課題であると思います。

4. 防災対策

施設全体で行われる火災を想定した避難訓練に参加しました。実際に火災が発生した場合を想定しながら避難経路を自分達で考える事で、多くの気づきを得る事が出来ました。

行事

| 開催月 | 行事名 | 実施内容 |
|-----|-------------------------|---------------------|
| 4月 | 墨が彩るモノトーンな世界 | 鯉の滝登りを水墨画テイストで作成 |
| 5月 | つながる！千羽鶴プロジェクト | 千羽鶴を作成し広島平和公園へ奉納 |
| 6月 | 〃 | 〃 |
| 7月 | 夏の思い出 ～ノスタルジーに浸りたい～ | 昭和の海を壁画作成 |
| 8月 | ワシらの夏祭り | 夏祭り |
| 9月 | そうめん流し いいえ 流しそうめん です | 流しそうめん |
| 10月 | 天満月 | 城と紅葉と月が織りなす壁画作成 |
| 11月 | 地味にすごい、福井 | パワーポイントを使用したバーチャル旅行 |
| 12月 | もう、お正月 | 正月飾りを作成 |
| 1月 | 中止 | |
| 2月 | 中止 | |
| 3月 | 花びら舞い散る 記憶舞い戻る | 桜並木を彷彿させるオブジェ作成 |

苦情状況

なし

4. 居宅介護支援事業所

年々増加する業務量の為、今年度もかなり忙しい年となりました。年度後半に介護支援専門員

の急な退職があったため、急遽の新任着任に伴いご利用者様や事業所の方々にご迷惑をかけないよう全力で対応を行いました。その結果、特に指摘や苦情が発生することなく、今年度を終わらせることが出来ました。

1. サービスの質の向上

今年度は「アセスメント」に特化して、質の向上に努めました。まず、書籍やインターネットを活用し、ケアマネジメントの手法を学びました。併せてアセスメントシートを活用し、適切なアセスメントが行えるよう努めました。その結果、少しずつですが現実に即したニーズをプランに反映させることが出来るようになりました。

2. 感染症対策の徹底

施設内で行われる感染症研修に参加し、知識の習得に努めました。コロナ感染症が5類になったこともあり、ご利用者も以前ほどの緊張感はなく、時折感染したとの連絡を受けることがありましたが、持ち込まないように留意し、感染することなく1年を終えることが出来ました。

3. リスクマネジメント

- ・必要な作業を落とさないよう細かく注意し、運営基準減算は1回もありませんでした。
- ・事業継続計画について、今年度初めて研修を受講しました。使う機会がないのが一番ですが、災害時等のイメージを持つことが出来ました。

4. 防災対策

年2回の火災避難訓練に参加し、避難の援助を行いました。居宅には避難させるべきご利用者はおらず、自身も訪問で不在のことが多いので、いざという時、施設入所者避難の援助がしっかり行えるよう、知識、技術をしっかりと学んでおく必要があると感じました。

苦情状況

なし

5. ケアハウス

令和6年度は、ご入居者の入れ替わりもほとんどなく、安定した1年となりました。以前と比べてご入居者層が変わったことで、今までと違ったニーズが発生しており、ご入居者に楽しく充実したケアハウス生活を実現していただくための新たな課題だと認識した1年でした。

1. サービスの質の向上

(相談)

- ・ご入居者に異常が発生した場合、速やかにご家族や関係機関に連絡を取ることで、必要な対応を提供し、生活が中断されることなく過ごしていただくことが出来ました。
- ・情報提供の際、折に触れ紹介をお願いしましたが、それ以上に申込や問い合わせの数は多かったと思います。

- ・これまでの経験を活かし、申込時及び契約時には、ケアハウスの特性に併せて現実的な人間関係やリスク等の説明を行うよう努めました。また、近年問題が増加しているカスタマーハラスメントに特化した項目を契約事項に追加し、ご入居者ご家族に説明を行い、全員の同意を得ました。

〈介護〉

- ・個々のご入居者の生活スタイルは多様で、個性を否定しないよう留意しながら居室内で生活しやすいよう、居室内の危険箇所や整理整頓等への助言を行いました。
- ・最後の90歳代で要介護であるご入居者が年度初めに退去され、ご入居者のほとんどがADL能力が高く、ご自身の意思をしっかりと持たれた方で占められるようになりました。それに伴い、意見の衝突や不満が発生することが増えましたが、根拠のある説明を心掛け、穏やかな集団生活の実現に努めました。また、楽しみや好みの変化に合わせて「食」から「外出」へテーマを変更して行事を計画実行したところ、大変好評でした。

2. 感染症対策の徹底

- ・ご利用者には、マスクの着用や手洗い、手指消毒の励行は行っていましたが、職員を含めて7名がコロナに感染してしまいました。コロナ感染症が5類になったことから、少々の風邪症状には過敏な反応・対応をしなくなったことが原因と思われる。感染後の入居者への対応としましては、これまでの経験を活かし、適切な対応を行ったことで無事終息しましたが、今後の課題は残りました。
- ・感染症対策についての情報提供や意識喚起は、時季には必ず行ってまいりました。受け取り方はご入居者によって様々であったようですが、効果はあったと思います。

3. リスクマネジメント

- ・ご様子に変化があった段階ですぐに受診に繋げたり、本人の状態変化を確認して速やかにケアマネジャーに連絡し、適切なサービスを導入する等、迅速な対応が出来たと思います。その結果、病状の重篤化を防ぐ事や、生活を途切れさせることなく継続していただくことが出来ました。
- ・事業継続計画について、今年度初めて研修に参加しました。使用することのない方がよいのですが、当法人にある計画の存在を知ることが出来たことと、災害時、自分たちがどのように動くのか、イメージが出来たことが有効だったと思います。今後は更に深めていけたらと思います。

4. 防災対策

- ・年2回の避難訓練に参加しました。日曜日や夜間はケアハウス職員が不在であることを踏まえ、ご入居者自ら避難できるようになることを目的に訓練に取り組みました。ほとんどの方が避難することが出来ましたが、外出で不在の方の把握や、自ら動いて避難してしまう方の転倒リスク等、課題が浮き彫りになりました。
- ・避難がスムーズにできるよう、環境整備の一環として外側犬走の障害物に気がつけましたが、

犬走の段差自体が危険であり、整理整頓では解決できない側面もありました。今後は避難方法の見直しを検討していきたいと思います。

(1) 入居者の実態

①要介護度及び保険者（令和7年3月末現在）

| | 自立 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 合計 |
|-----|----|------|------|------|------|------|------|------|----|
| 総社市 | 4 | 0 | 3 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 11 |
| 岡山市 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 津山市 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 倉敷市 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |

②年齢構成（最高年齢：97歳、最少年齢：74歳、平均年齢：84.3歳）（令和7年3月末現在）

| 性別 | ～64 | 65～69 | 70～74 | 75～79 | 80～84 | 85～89 | 90～ | 合計 |
|----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|----|
| 男性 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| 女性 | 0 | 0 | 1 | 2 | 4 | 3 | 3 | 13 |

③在籍年数（平均3年4か月）（令和7年3月末現在）

| 年数 | 1年未満 | 1年以上～ 3年未満 | 3年以上～ 5年未満 | 5年以上～ 8年未満 | 8年以上～ 10年未満 | 10年以上 |
|----|------|---------------|---------------|---------------|----------------|-------|
| 人数 | 2 | 8 | 3 | 1 | 0 | 1 |

④入退居状況

退居者数 1名（長期入院：0名、他施設入所：1名、死亡退去：0名、自宅：0名）

入居者数 2名

(2) 懇談会開催状況

| 開催日 | 懇談内容 | 出席者数 | 出席職員数 |
|---------------|--------------|------|-------|
| 令和6年6月14日(金) | 依頼・改善提案・情報提供 | 8名 | 4名 |
| 令和6年9月13日(金) | 〃 | 5名 | 5名 |
| 令和6年12月13日(金) | 〃 | 8名 | 4名 |
| 令和7年3月10日(月) | 〃 | 10名 | 7名 |

(3) 行事活動実施状況

| 実施月 | 実施内容 |
|-----|---------------------------|
| 4月 | お花見散策（船穂ワイナリー） |
| 5月 | おやつ作り（豆腐柏餅） |
| 6月 | おやつ作り（牛乳寒天） 夏野菜調理 買い物支援開始 |
| 7月 | そうめん流し、夏野菜調理 |

| | |
|-----|------------------------|
| 8月 | かき氷 |
| 9月 | 敬老会 |
| 10月 | 菊花展見学 |
| 11月 | 紅葉散策（まきび公園） |
| 12月 | クリスマス行事（クリスマス喫茶、ケーキ作り） |
| 1月 | 蕎麦打ち |
| 2月 | 握り寿司（日清） |
| 3月 | なし |

※レクリエーション(脳トレプリント提供)：週1回、百歳体操：週1回、買い物：月1回、習字：月1回、カミカミ体操：月1回

(4) 苦情状況

なし

6. 地域包括支援センター

支援計画数については前年比103%と年々増加をする中、大きな苦情など無く年度を終えることができました。また、多様な課題に対応できるよう相談支援機関としてのスキルアップのため積極的に研修会への参加や他機関との連絡会などへの出席を行ってまいりました。2025年問題へ対応するべく来年度以降も職員一人一人の資質向上に努め、高齢者が安心して生活が出来るよう支援してまいります。

1. サービスの質の向上

昨年度に引き続き研修会への参加を行い、知識の習得に努めるとともに他機関との関係づくりを構築することが出来ました。また、事業所内のミーティングの回数も増やし、三職種の情報共有や相談支援機能の強化も図ることが出来ました。

2. 感染症対策の徹底

昨年度に引き続き基本的な感染対策を継続していくことで年間通して事業所内で感染症が蔓延することはありませんでした。

3. リスクマネジメント

事業継続計画の実行性を高めるため、事業所内での情報共有の方法や業務内容についての見直しを図りました。また、介護保険制度等の改正事項についても情報収集を行い、ご利用者への不利益や請求のミスなどが無いように努めました。

4. 防災対策

法人全体での避難訓練に参加をすることで発災時の施設利用者の避難誘導がスムーズに行えるようにしました。また、事業所内でも災害発生時の行動について再度確認をすることで災害時の事業

継続に必要な対応について職員全体に意識づけを行うことが出来ました。

苦情状況

なし